

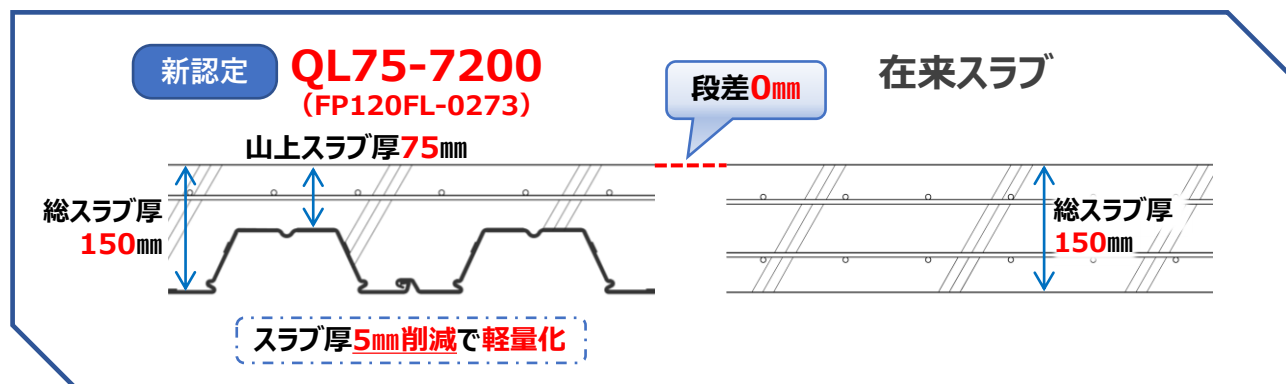
『QL75-7200』

山上スラブ厚75mm対応版
-高荷重・耐火補強筋不要仕様-

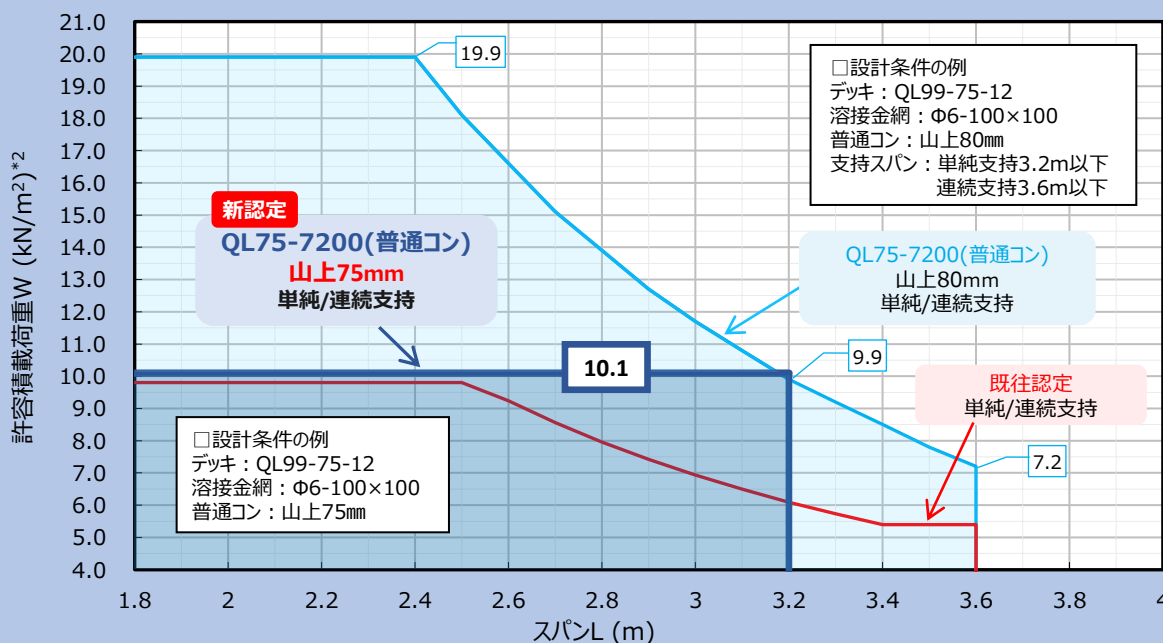
NEW

「QL75-7200」のボリュームゾーン※1で
仕様拡大 山上スラブ厚 75mm に対応しました。

- ◇ 「QL75-7200」シリーズの仕様拡大
- ◇ 山上スラブ厚低減（80mm→75mm）による軽量化
床面積4000㎡の場合、コンクリート重量 20㎡ 削減、CO2 換算で 5.4 t-co2 削減
- ◇ 総スラブ厚低減（155mm→150mm）による 在来スラブ（150mm）との取り合いを改善



新耐火認定仕様「QL75-7200」



■施工時許容スパン表

支保工が不要な最大スパン
普通コンクリート
(単位体積重量24.0kN/m³)、
表面処理が垂鉛めっきの場合
注:表を超える場合、別途支保工が
必要です。

コンクリート厚(mm)	単位(m)												
	75			80			90			100			
板厚	1.0	1.2	1.6	1.0	1.2	1.6	1.0	1.2	1.6	1.0	1.2	1.6	
支持条件	単純	3.04	3.21	3.52	3.01	3.18	3.48	2.96	3.13	3.42	2.91	3.07	3.37
	2連続	3.63	3.93	4.21	3.58	3.91	4.18	3.49	3.83	4.13	3.40	3.73	4.07
	3連続	3.53	3.70	3.96	3.50	3.68	3.93	3.44	3.63	3.88	3.38	3.58	3.83

仕様一覧

構造区分		床2時間耐火構造 (FP120FL-0273) *1
支持条件/許容スパン(m)		単純・連続/3.2以下
許容積載荷重(kN/m ²)*2		12.85 - DL*1
デッキ*4 プレート	種別/板厚(mm)	QL99-75/板厚1.0,1.2,1.6
	梁との接合方法(mm)	頭付きスタッド φ16以上×ℓ 110以上 @300以下
コンクリート	種別/ 設計基準強度(N/mm ²)	普通コンクリート/Fc18~36
	山上スラブ厚(mm)	75*3
配筋	溶接金網または 異形鉄筋(mm)	線径6以上@100×100以下(CDメッシュ推奨) D10以上@200×200以下かぶり厚さ25以上

※1 DL:合成スラブ自重(デッキ重量+コンクリート重量+鉄筋・金網重量)

合成スラブ自重:DL(単位:kN/m)

※ひび割れ拡大防止筋

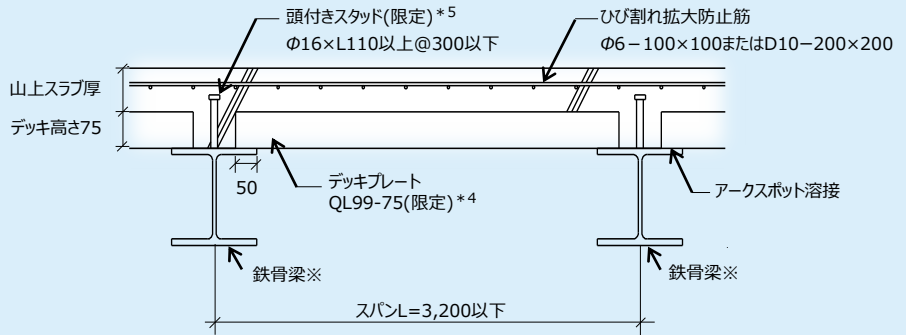
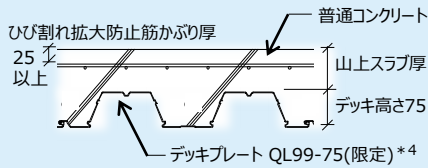
φ6-100×100の場合

(普通コン/デッキプレート表面処理:Z12)

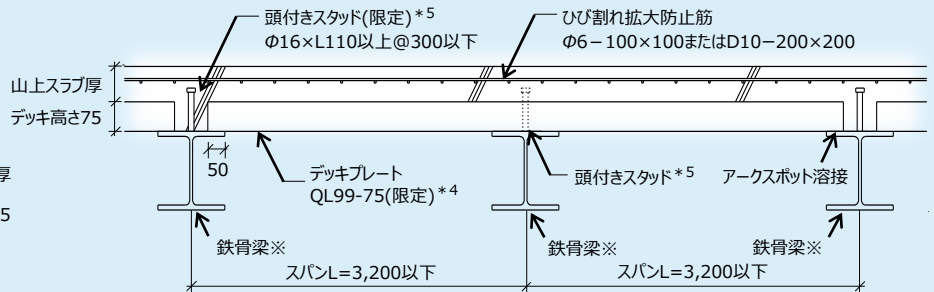
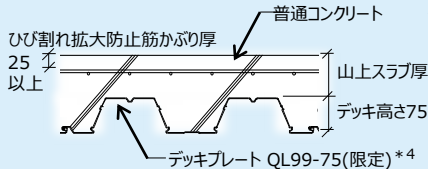
デッキ板厚 スラブ厚	1.0	1.2	1.6
75	2.72	2.75	2.79
80	2.84	2.86	2.91
85	2.95	2.98	3.02
90	3.07	3.09	3.14
95	3.18	3.21	3.25
100	3.30	3.32	3.37

スラブ断面図 (単位:mm)

■単純支持



■連続支持



※鉄骨梁に所定の耐火性能を要求される場合は、それらに応じて適切な耐火被覆を施してください。(本認定内容には含まない)

新耐火認定 使用上の留意点

- *1 山上スラブ厚75mmの場合、鉄骨梁の合成梁構造、および、鉄骨梁横座屈補剛工法 (JFEスチール) の適用は別途確認が必要です。
- *2 積載荷重と仕上げ荷重等の総和が、許容積載荷重以下になるようにしてください。
- *3 山上スラブ厚さは75mm以上ですが、デッキ合成スラブ構造の上限は100mmです。
- *4 デッキプレートはQL99-75限定、支持梁は鉄骨梁限定です。
- *5 頭付きスタッドとの干渉を避けて、溶接金網又は異形鉄筋を配置してください。または、鉄筋のかぶり厚さを25mm以上にしてください。
- *6 耐火時と常温時で許容積載荷重が異なります。既往の耐火認定と異なり、常温時の許容荷重が許容値になる場合があります。常温時の許容積載荷重をJFE建材が提供する構造計算ソフトで必ずご確認下さい。
- *7 認定の詳細、および、デッキプレートと合成スラブの仕様詳細は、JFE床商品カタログなどをご参照ください。

[納まり例]

